

在日米海軍による石垣空港の使用中止を求める決議

去る 6 日、在日米海軍司令部が石垣空港を使用すると沖縄県にメールで通知してきた。同司令部は使用目的を明らかにしていないが、マスコミの報道によれば 13 日午前 11 時 45 分から午後 1 時までの時間帯に厚木基地から C-12 固定翼機と米艦船からヘリ H60 が石垣空港へ着陸し、基地と艦船に戻る軍属の輸送訓練ではないかとされている。

これに対し沖縄県は「民間航空機の円滑かつ安全な運航を確保するため、使用の自粛」を、また石垣市も「民間空港なので、緊急時以外の使用の自粛」を求めている。

石垣空港は八重山の空の玄関口であり、石垣市民はもとより年間 60 万人を超える観光客が訪れる民間空港である。訓練を名目に軍事利用が常態化されることは地域住民の命と暮らし、八重山経済を支える観光など諸産業にも重大な障害をもたらすことは必定である。

よって当市議会は、石垣空港が民間空港として果たしている機能が常に優先されなければならないこと、また八重山地域の観光産業の拠点空港としての役割の発揮のために沖縄県や石垣市が自粛の申し入れをしているにもかかわらず、強引な使用を目論んでいることに断固抗議し、石垣空港の使用の中止を求める。

以上、決議する。

平成 24 年 3 月 12 日

石 垣 市 議 会

あて先

在日米海軍司令部、在沖米国総領事、外務省北米局日米地域協定室長